

## I 正課でのキャリア支援

### 1 キャリアデザイン演習・キャリアアクティブワーク

文科では正課の中でも、学生自身の将来設計を支援する教育を行っています。1年後期に就職や編入に必要な知識、情報、スキルを学ぶ「キャリアデザイン演習」(必修)と、2年前期に就活そのものを学びの機会としてとらえる「キャリアアクティブワーク」(選択)です。将来設計についての講義、外部講師による具体的な就活指導、SPI対策、コミュニケーションや発信力を高めるためのグループワーキング等を行っています。



132

### 2 就職活動への積極的指導

短大生の就職活動は、大学生のそれと異なる面も多いので、文科の学生に特化した連続講座を、専門講師に依頼して行っています。1年前期「基礎ゼミナール」と後期「キャリアデザイン演習」の中で全5回、「働くとは何か」を考えることから始め、履歴書の書き方・面接時の笑顔の大切さ等の具体的な指導を受け、目に見える成果を上げています。



133

### 3 秘書実務を学ぶ

「秘書検定試験」対策に対応した授業ですが、それだけではなく、社会に出て働くために必要な心構えや知識なども学びます。



134

### 4 観光英語を学ぶ

「観光英語検定試験」対策を念頭に置いた授業で、ホテルやツアーリスト業界への就活に役立つ実践的な英語の習得を目指しています。



135

### 5 大学編入への積極的指導

共立女子大学を始め他大学への編入学を希望する学生も多いので、編入指導も欠かせません。常日頃の勉強と成績の善し悪しが合格を決めるので、1年生には特に勉強に励むよう指導します。2年生では特別編入に臨む学生は大学で何を学びたいかをしっかりつかませ、他大学編入希望者には一対一で入試問題に取り組みさせるなど、きめ細かい指導を行います。

## II 正課外でのキャリア支援

### 1 キャリサポ

キャリサポはキャリアサポートワークショップの略。学生がスタッフとなり、先生や助手と相談しつつ、就活・編入に有益なイベントをプロデュースします。進路を考える中で自分のことだけではなく、周りのみんなと協働する充実感があります。生活科学科の学生とも一緒に行動するので、友人の輪も広がります。今年度は「エントリーシートの書き方」「メイクアップで自分を生かそう」講座等を予定しています。



137

## 2 内定者トークイベント

すでに内定をもらった2年生と1年生との交流会です。就活の準備や、実際の就活のこと、就活の心得など様々なことを聞けます。すぐ上の先輩の体験談が聞けるので、これからの就活にとっても参考になります。



138

## 3 編入トークイベント

春・秋2回行います。春はこれから大学3年に編入を目指す2年生に対して、実際大学に編入を果たした3年生を招いて、面接対策や心構え、大学の様子などを話してもらいます。



秋は広く1年生対象に行います。就職か編入か悩んでいる人も、具体的な内容を聞けるので決断する際におおいに役立ちます。学年が違っても中々交流ができませんが、こういう機会はその点でも有益です。

139

## 4 OGネットワークを用いたキャリア支援

文科では卒業生のネットワークから、仕事先を出しても構わないと許可された方の勤め先一覧を作成して学生に公開しています（個人情報は出さない）。希望者には直接OGの方からお話を伺うことができます。就活では社員訪問をした方がよいとは聞きますが、初対面の方にお話を伺うのは結構大変です。文科のOGであればハードルもぐっと低く、意欲を持って望みたい学生に好評です。



140

## Ⅲ リテラシー教育

### 1 リテラシーポイント

文科はリテラシー教育に力を入れています。リテラシーとは言語運用能力のことですが、特に、語学力そして文章力をつけることを重視しています。それらの能力アップを心がけてもらいたいと、この制度を設けています。正課外活動で、リテラシーの力を身につけようとした学生にはリテラシーポイントを与え、ポイントをたくさん集めた学生を表彰しているのです。また、編入学特別推薦に際しては、リテラシーポイントを一定の点数以上持っていることが推薦の条件になります。



141

### 2 千字エッセイコンテスト

毎年2回千字程度のエッセイを募集し、優れた作品を表彰し、またその作品を冊子にまとめ、様々な方に配布しています。応募した学生、入賞した学生にはリテラシーポイントが与えられます。その都度テーマを設定しますが、自由テーマでも応募できます。基本はエッセイですので、社会の出来事に対する思い、感動したことや落ち込んだことなど、学生の様々な声が伝わってきて、なかなか読ませます。

142

### 3 英語スピーチコンテスト

文科では、英語のスピーチコンテストを行い、優れたスピーチを行った学生を表彰しています。また、文科の英語スピーチコンテストの参加者と優秀者にはリテラシーポイントが与えられます。このスピーチに参加し発表するプロセスが英語の勉強にもなります。英語コース以外のコースからの参加者も増え、年々盛り上がってきています。



### 4 読書レポート

読書室にある本を対象に、800字程度の読書レポートを書いて提出した学生にはリテラシーポイントを与えています。中にはこの読書レポートを5本も6本も書く学生がいます。

144

## IV 特徴的な施設と活動

### 1 文科読書室

文科には読書室があります。ここには、学生が読みたい本や教員が学生に読ませたい本などが揃えられ、文科の学生が気軽に借りられるようにしている小さな図書室といえます。学生を中心にした読書室委員が運営管理し、本の選定も学生が行います。図書館と違って、学生が主体となって選書をするので、読みたい本がたくさん揃っています。貸し出しの手続きも簡単なので、自分の本棚のようです。



### 2 読書室委員

文科読書室の管理運営や、読書室の活動を行う、教員、助手、学生からなる委員会です。中心は学生で、委員代表は学生がつとめます。主な活動は、文科読書室の管理・運営、購入図書の選定、様々な読書室活動への参加です。その他読書室活動はいろいろあり、例えば文学の史跡巡りなど自分たちで企画して行う楽しみもあります。



### 3 読書室活動

読書室委員は様々な活動を行っていますが、その一つに、学園祭の参加があります。参加すると決めた年は、読書室の本の展示や、古本市を開き、売り上げ金をユニセフに寄付するバザーなどを行います。古本市のかたわらで和カフェを開いた年もありました。



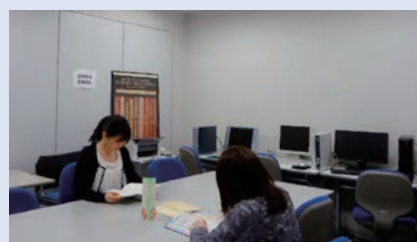
### 4 ブックパーティ

文科読書室委員が中心になって行う読書イベントです。過去には「私のオススメ本」「本に関わるテーマについてのフリートーキング」「朗読による本の紹介」等を行いました。参加者は文科の学生だけではなく大学の学生にも呼びかけています。ケーキやお茶が出る茶話会風の知的でなごやかな集いです。



### 5 自習室

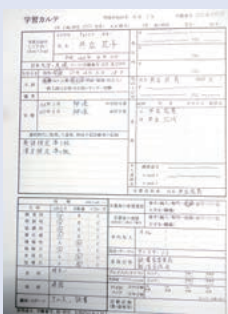
パソコン数台と6,7人が座れる小さな部屋ですが、学生がレポートを作成したり、パソコンで資料を検索をしたりする文科の学生のための学習室です。休み時間や授業の合間に、調べ物やレポートの作成によく利用されています。



149

### 1 学習カルテ

学生一人一人についての学習状況や学生生活についての情報を、面談などを通して把握し、学習カルテに記載しています。このカルテによってよりきめ細かな学習指導や学生生活の相談に乗ることができます。紙媒体のカルテですが、これを作成することが学生とのコミュニケーションの機会にもなっており、入学から卒業まで、担任教員が学生への親身な指導をするうえでこのカルテが大変役にたっています。



### 2 助手による面談

学習カルテの面談は、各コース付きの助手が5月連休後から全員を対象に行います。一人ずつ行うので大変な時間がかかりますが、これを通して学生は文科に慣れ、助手は学生を知り、教員から学生の問い合わせがあった時にすぐ応じられます。文科の特徴でもある教員と学生との親密さは、助手が中に入っていることなのです。



### 3 『文科GUIDANCE』

文科では、教員のオフィスアワーや時間割、学習や就職についてのQ&A、文科の学生が利用できる施設の紹介等を記した『文科ガイダンス』と名づけたリーフレットを作成し、毎年新学期に全学生に配布しています。特にオフィスアワー欄には、気軽に教員の研究室を訪れることができるように、教員によるメッセージが書かれています。



### 1 新入生歓迎タイム

オリエンテーション期間は長く、周りは初対面の人ばかり。連日慣れない時間割作りに疲れて新入生はストレスがたまります。そんな時お茶とお菓子で「新入生歓迎タイム」。お菓子をつまんでおしゃべりしている内に、文科の学生になったんだという実感を持つようです。



### 2 クリスマス会・新年会

各コースそれぞれ、学生と教員が一緒になって12月のクリスマス会や1月の新年会を開き、みんなでケーキを食べたりプレゼント交換をしたりします。このようなイベントを通して学生同士、あるいは教員と学生の交流を深めています。文科は学生と教員との距離がとても近いのが自慢ですが、このような催しが教員と学生との親密な関係を作っています。

